

11月11日

## 施設様向けに勉強会を実施しました

11月11日(木)19時から、当院の山口言語聴覚士と戸北作業療法士が有料老人ホーム「むすび富合」にて、施設様向けに勉強会を開催しました。今回の勉強会の内容は、嚥下についてでした。正しい摂食の仕方から、介助のポイントなど、職員をモデルにしてわかりやすく実践しました。施設職員の方々は、大変熱心に聞きいられ、質疑応答にも熱が入り、予定時間をオーバーするほど意見交換が行われました。にしくまもと病院では、施設様向けに勉強会を開催しております。詳細は地域連携室までご連絡ください。



11月18日

## 坂田薬剤師が発表をされました



11月18日ホワイトパレス松橋で宇城薬剤師会学術講演会が開催されました。その講演会で、当院の坂田薬剤師が「薬剤適正使用の取り組み」について発表をされました。坂田薬剤師は、他職種と連携してケアの質を向上することが適正な薬剤使用に繋がり、実際に薬剤の使用量が減少したデータを見せながら説明をされました。坂田薬剤師は、この日のために長期間に及んでデータをまとめ上げ、わかりやすい説明で症例を発表しました。

## 編集日記

新病院 各フロア予定

6F	救急病棟	30床
5F	一般病棟(内科)	40床
4F	一般病棟(外科)	40床
3F	回復期リハビリ科	36床
2F	リハビリ室・手術室・薬造	
1F	外来・検査室・売店・事務	



にしくまもと病院

早いもので今年もうすぐ終わりますね。今年の冬は、暖かい日もあれば急に寒くなったり、寒暖の差が激しいような気がします。みなさんにとって今年の一年はどんな年でしたか。にしくまもと病院は、大きく前進した年でした。現在、新病院建設に向けて計画を進めています。来年のにしくまもと病院はさらに飛躍の年になりそうです。皆様から親しまれるのにしくまもと病院になるよう来年も尽力を尽くして参ります。今年一年、お世話になった方々へこの場をおかりして心よりお礼申し上げます。来年もにしくまもと病院をどうぞよろしくお祈りいたします。皆様が良いお年をお過ごしになることを職員一同お祈り申し上げます。



医療法人相生会  
**にしくまもと病院**

〒861-4157 熊本市富合町古閑1012番地(熊本総合車両基地前)  
TEL: 096-358-1118 (代) FAX: 096-358-1099

### 一 関連施設

居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーション事業所 れんげ草  
訪問看護ステーション きんもくせい  
臨床薬理センター

### 一 診療科目

整形外科、内科、糖尿病・代謝内科、  
消化器内科、神経内科、麻酔科、消化器外科、  
泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、  
呼吸器内科、循環器内科、  
人間ドック・企業健診(産業医)、特定健診

熊本ホスピタウン Kumamoto hospitown

Vol.

66



ISO9001 認証取得

2010年12月発行

Dec

—法人理念—

私たちはこころのかよった  
医療・介護をめざします

# にしくまだより

# グランドゴルフ大会を開催しました!

11月25日(木)、毎年恒例の熊本ホスピタウン杯『グランドゴルフ大会』を開催しました。当日はお天気に恵まれて快晴でした。早朝の寒い中、参加者のみなさんは集合時間前から集まり、一年ぶりのプレーに気合い満々の様子でした。

昨年の優勝者が林院長にトロフィー渡すと、林院長はトロフィーを受け取ると同時に楯を贈呈しました。このトロフィーは今年の優勝者へと贈呈されました。参加者代表の方が林院長の前で選手宣誓を行うと、みなさん気合いが入ったような表情でした。

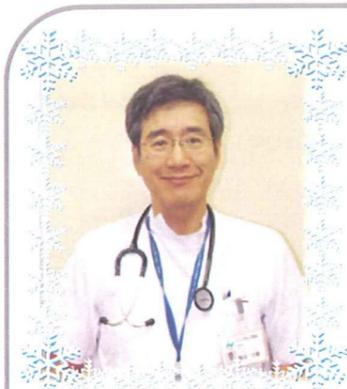


今年の始球式は箕田副院長がプレーしました。参加者みなさんが見守る中、緊張しながらの初プレーでした。最初からホールインワン!! と簡単にはいきませんが、副院長のなかなかの腕前にみなさんから拍手がわきました。



今年は宮本看護部長も初参加しました。グランドゴルフは初プレーでしたが、参加者のみなさんからご指導を受けるうちに上達して、プレー後半では見事なスコアを記録しました。

## にしくまもと病院医師紹介



副院長 篠原守継先生  
糖尿病・代謝内科  
日本糖尿病学会専門医  
日本医師会産業医

みなさん、こんにちは!! にしくまもと病院で糖尿病・代謝内科・一般内科を担当しております篠原と申します。今日は私の自己紹介をします。「代謝内科」とは、みなさんにはちょっと聞き慣れない言葉かもしれませんが。簡単に言えば、糖尿病や脂質異常・高血圧などといった慢性的な病気を診る内科です。こういった病気は、放っておくと心臓病や脳卒中になってしまう率がグッと増えることになります。怖いですね。しかし困ったことに少々の糖尿病や高血圧では痛くも痒くもありません。血糖や血圧を測ってみなければ自分では異常がわかりません。これを見つけるのが健診の役割です。健診で異常があれば医療機関受診です。糖尿病を例にとるとまず行うのは食事指導です。糖尿病の食事は、幸いなことに誰にとっても一番長生きできる食事です。けっして辛い修行のようなものではありません。食べてはいけないものもありません。もちろんきちんと1日3回の食事をする、間食や夜食をしないことが基本ですが。食事指導と同時に運動の指導をし、また合併症が既に起こっていないかを検査します。

適度の運動を定期的に行うことにより血糖が上がりにくいような体質に変えることができます。食事と合わせて減量にも効果があります。食事指導や運動の効果が期待できないと思われる場合には、薬の使用を考えることになります。糖尿病の内服薬は種類が増え選択の幅が広がりました。またインスリン製剤も進歩し食事の直前に投与できるアナログ製剤が一般的になってきました。針も細くなり痛くなくなりました。そうそう、良く質問されるのですが、インスリンは一度使ったら止められないものではありません。高血糖の正常化のため一時的に使うことがよくあります。さて、糖尿病の患者さんの半分は治療を受けていないそうです。まず定期的な健診を受けましょう。もし健診異常を指摘されたら早めに医療機関を受診しましょう。腎臓や目などの合併症が進んで症状が出てからでは厄介ですよ。

以上、自己紹介というより病気の紹介になってしまいました。もし病気や治療についてわからないことがあれば、私の外来診察でお気軽にご質問ください。時間の許す範囲で、またわかる範囲でお答します。

## ◆ご利用者の声◆



当院では、院内数箇所にご意見箱を設置し、ご利用者の皆様のご意見・ご要望を随時承っております。ここでは最近寄せられたご意見を紹介致します。

**1** 皮膚科の診察は水曜日の午前中しかないのですか。

ご質問ありがとうございます。皮膚科の診察は、担当医の都合により水曜日は午前中のみ行っております。他、火曜日と木曜日に関しては午後の診察を行っております。診察の変更などございましたら掲示で随時お知らせして参ります。

**2** 長い間、入院で大変お世話になりました。介護面で本当にお世話になりました。うれしかったです。

お礼のお言葉をありがとうございます。入院生活で一番ご苦労があったであろうご本人様、ご家族様からこのような言葉を言っていたただけほど私達はうれしいことはありません。

**3** 以前は会計にマイクがありました。今はどうしてないのですか。以前のようにマイクを付けてください。患者同士で話していると名前を呼ばれても聞こえません。

ご意見ありがとうございます。以前は会計時にマイクで患者様をお呼び出ししておりましたが、現在はしておりません。呼びだしに気付かれない方には直接お声かけをするなど受付スタッフが配慮して参りますのでご了承ください。

貴重なご意見、ありがとうございました。

今後も当院では、出来る限り皆さまのご要望に沿うような病院となるよう努力していきたくと考えております。お気軽に皆様のご意見をお寄せ下さい。

CS広報管理  
委員会



12月22日

## クリスマス会をしました



12月22日、介護病棟でクリスマス会を開催しました。左の写真は、セラピスト職員がハンドベルを披露した写真です。練習はしたものの、慣れないハンドベルに苦戦した様子でした。はずれたベルの音が鳴ると、笑いが起こりながらも、職員の一生懸命な演奏に拍手がわきました。

介護病棟職員一同で、『ソーラン節』を披露しました。あまり練習時間が取れなかったため心配しながらの踊りでしたが、元気いっぱいノリノリの踊りにみなさん手拍子を叩いてくださいました。少々過激な振り付けに職員達は息を切らしながら、最後まで無事に踊ることができました。



富合町にある『第一幼稚園』の園児達が、この日のために歌や演奏を披露してくれました。園児達の演奏が流れると、感動で涙を流す患者様もおられました。園児達はクリスマスの歌を英語で歌ってくれました。この日のために英語の歌詞を全て覚えて来てくれたことに、我々職員も感動しました。

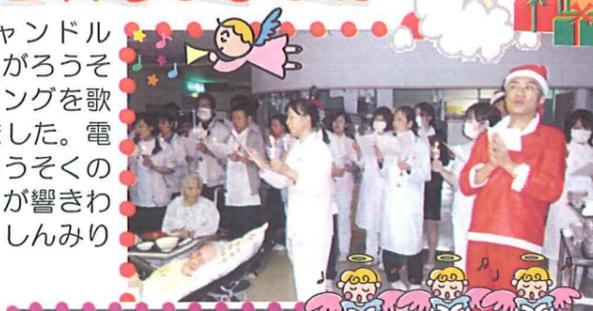
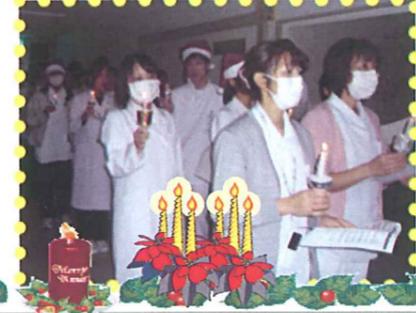
12月24日

## キャンドルサービスをしました



12月24日18:00～、キャンドルサービスをしました。職員がろうそくを持って、クリスマスソングを歌いながら、全病棟を回りました。電気が消えた暗い病院内をろうそくの明かりが灯り、職員の歌声が響きわたると、クリスマスらしいしみりとした雰囲気になりました。

林病院長は、サンタに変身しました。全患者様に『メリークリスマス!!』と声をかけながら、手作りのクリスマスカードを手渡しました。



西村先生もサンタのエプロンを着て、患者様一人一人にクリスマスカードを手渡しました。